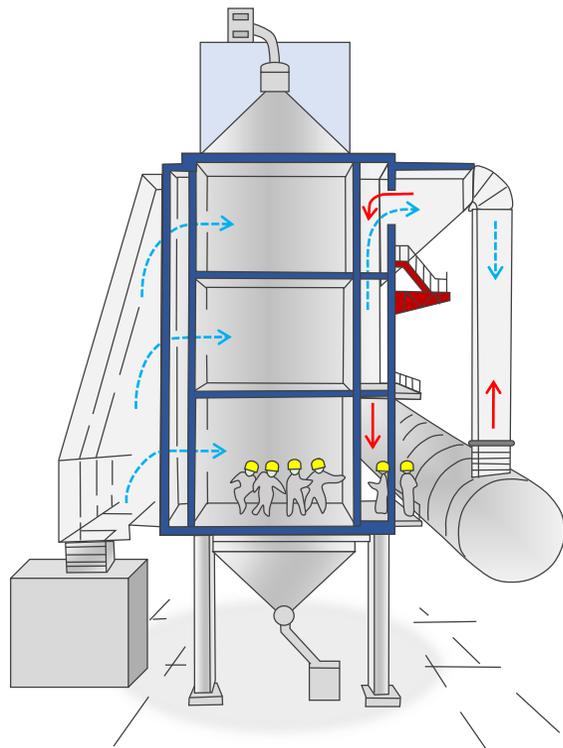


製鉄所の脱硫装置の吸着塔の清掃中に一酸化炭素中毒



【発生場所】

製鉄工場の焼結機に付属する脱硫装置の吸着塔

【被災原因】

脱硫装置の下段の清掃中に、被災者と同僚2名が内マンホールの外側で、4名が内マンホールの中でバキュームホースを使用して吸引作業を行っていた。
製鉄所の立会人が不快な刺激臭を感じたので、焼結機からの排ガスの流入を懸念し、マンホール内の亜硫酸ガス、酸素濃度、一酸化炭素濃度の測定をしたところ、酸素濃度が18.8%、一酸化炭素濃度が130ppmであったので、マンホール内の作業員に「逃げろ」と指示した。

【被災状況】

自家用車等で病院に行き診察を受け、立会人と被災者が入院を指示されたが、立会人は当日に帰宅し、被災者は一酸化炭素中毒で一週間の入院となった。

【対策】からの抜粋

- [2] 関連設備で同時に作業を行っていて、稼働を再開する時には十分な連絡調整を行うこと
- [3] 作業中は作業環境の測定を随時行い安全性を確認すること



～理研計器からのご提案～

更に、作業員がポータブルガスモニターを装着して作業することで、炉内ガス漏洩の早期発見と、作業員、及び、周囲に対して危険を知らせることができます